

1

■正答

- 一 (1) (1) さいしよ
- (2) (2) ころ (みる)
- 二 (1) 再開
- (2) 限 (られて)
- (3) (3) せい 金

2

■正答

- 一 (1) (1) ア
- 二 雨が ↓ ア (2) イ
- 水たまりが ↓ イ
- ぼくには ↓ エ

■考え方

- 一 文脈に合わせて適切な漢字を使えるようにするためには、同じ音や同じ訓の漢字を集める学習や、自分で新出漢字の読みや意味などを調べる学習に取り組むことが大切です。
- 二 文中の主語と述語との関係に注意することは、文のつくりを理解するための基礎となるものです。そのため、文の意味を的確に理解するためには、文中のいくつかの主語と述語を対応させながら読むことが大切です。

3

■正答

- 一 風がどうとふいてきて、草はザワザワ、木の葉はカサカサ、木はゴトンゴトンと鳴りました。
- 二 ウ
- 三 (例1) (二人が) とてもこわい (と感じている様子) (六字)  
(例2) (二人が) 食べられてしまう (と感じている様子) (八字)  
(例3) (二人が) もうにげられない (と感じている様子) (八字)

■考え方

- 三 「泣いて泣いて泣いて泣いて泣きました。」という表げんから、二人の気持ちを考えます。ここでは、「泣く」という言葉が何回もくり返されていることから、二人が「とてもこわい」「食べられてしまう」「もうにげられない」など、おそろしさを感じている様子が分かります。